

2017. 7. 2



NPOフォーラム・だより No.79

NPO法人安房文化遺産フォーラム

代表 愛沢 伸雄

〒294-0036 千葉県館山市館山 1016 さらしな館 TEL&FAX:0470-22-8271

Eメール awabunka@awa.or.jp 公式サイト http://bunka-isan.awa.jp

会員・寄付募集中！ ⇒ 郵便口座 00260-1-97307 名義:NPO法人安房文化遺産フォーラム
年会費=A会員 2,000 円(総会出席権あり)/B会員:個人 1,000 円(ニュースのみ送付)・法人 10,000 円

小原家住宅《国登録文化財》記念祝賀会

【要予約】参加費 500 円 *差し入れ大歓迎！(雨天中止)

*流しどうめんガーデンパーティ

8月11日(祝) 11:00 小原家住宅解説会 12:00 パーティ

築 160 年の小原家住宅は、主屋・離れ・米蔵・文庫蔵・長屋門・表門の6件が国登録文化財に決定しました。代々農業を営んでいた小原家の7代目小原金治(1859-1939)は県議会議員・衆議院議員を務めたほか、房総遠洋漁業株式会社や安房銀行の経営にも携わり、布良の小谷喜録や資生堂創業者の福原有信とも縁が深く、関東大震災直後には安房震災復興の会長となり、地域振興に尽力しました。現在の当主・村上吉夫氏(NPO監事)は、全国の野球ドーム建築に携わってきた1級建築士です。当日準備のお手伝いは 10 時半集合で、よろしくお願いします。

【アクセス】

・所在地:館山市南条 54 番地
・南総文化ホール前からR410パワ
ーコメリ手前信号を左折(大貫街
道)、まもなく観音寺横を左折。道
なりに進み、三叉路を左折の先。

青木繁「海の幸」記念館にて、友の会と協働事業

*陶器の風鈴市

7月22日～23日(土日)

*3つの「あ」の寺子屋講座

資料・お茶菓子代 200 円

【アクセス】

・所在地:館山市布良 1256 番地
・ナビは「安房自然村」。駐車はバス
停周辺または布良崎神社で OK。

旧富崎小学校の「3つの「あ」のふるさと学習(青木繁・安房節・アジの開き)」にちなんで、楽しいまちづくり講座。

7月13日(木) 13:30～ 「青木繁の誕生日を祝う」

船田正廣&溝口七生 (彫刻家・画家)

8月24日(木) 13:30～ 「青木繁も潜った布良の海」

成田均&青木優 (ダイバー・漁師)

9月14日(木) 13:30～ 「貝殻アクセサリを作ろう」

岩田明彦 (貝殻細工制作)

10月17日(火) 13:30～ 「複製画の制作から青木繁作品を語る」 島田吉廣 (カラー印刷技術者)

*東葛飾高校美術部展 ～ 館山・布良を描く 9月30日(土)～10月29日(日)

毎年、千葉県立東葛飾高校リベラルアーツ講座では、美術部の生徒さんがスケッチしながら、「館山まるごと博物館」をめぐるっています。歴代の部員が描きためた作品から数点をお借りし、展示紹介します

<お知らせ> 「日曜美術館」が取材にきました！

◇ NHK Eテレ 「日曜美術館」 <魂こがして 青木繁 ～ 海を渡った「海の幸」と石橋凌の対話>

*放送日 7月23日(日) 9:00 / *再放送 30日(日) 20:00

*鑑賞会 7月30日(日) 10:00 布良崎神社集会所にて

布良崎神社祭礼

7月22日(土) 10 時祭典

16 時神輿出御 日没時御浜くだり

第 12 回 安房・平和のための美術展 8月19日(土)～27日(日) とみうら枇杷倶楽部ギャラリー

平和を願う安房地域の美術家が一堂に会したチャリティ展。毎年、ウガンダへの支援もいただいています。

旧安房南高校・木造校舎(県指定文化財)の活用を考える会

1930(昭和5)年、関東大震災後に建てられた和洋折衷の2階建て木造校舎。羽を広げたようなシンメトリー(左右対称)の設計で、菱形を重ねたレリーフの外観や、玄関部・階段・欄干などの装飾が重厚です。2008 年安房高校と統合され、閉校となりました。文化財建物の有効活用を話し合いましょう。

7月30日(日)14:00～ 見学会を検討中。解説:栄山慶二、水上順義 (スリッパ持参、11 時より掃除)



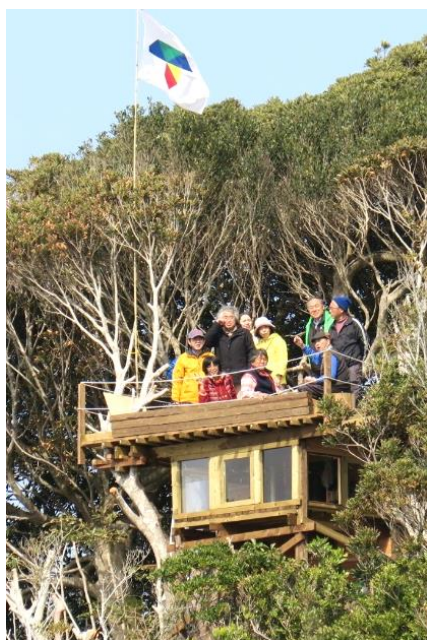
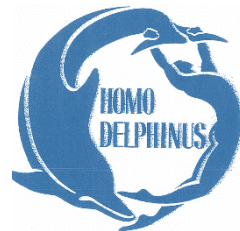
ウガンダの AWA-MINAMI(安房南)洋裁学校より緊急支援要請！

旧安房南高校から始まったウガンダ支援活動は、現地に「安房南洋裁学校」を設立し、統廃合後は安房高校を経て、現在は私立安房西高校 JRC(青少年赤十字)部が継承して 23 年目となります。今なお情勢不安定なウガンダより、児童送迎車両が故障したため代車購入費用の緊急支援要請がありました。かつての安房南高校卒業生らを中心とする「ひかりの」グループが、クラウドファンディング(寄付システム)を鋭意準備中。⇒ 詳細後報

*館山の海を愛した伝説のダイバー

ジャック・マイヨール展 in 安房自然村ホテル正翠荘

映画『グランブルー』のモデルとなったジャック・マイヨールは、坐禅やヨガ・呼吸法で無の境地を会得し、人類最初に素潜り100m記録を達成したフランス人です。母なる海に抱かれ、イルカから多くの人生哲学を学び、「ホモデルフィナス(イルカ人間)」という造語を提唱しました。兄弟のような絆で結ばれたダイバーの成田均さんを慕い、晩年は館山で暮らしました。



*ホモデルフィナスの森づくり

安房自然村(豊田晃社長)の協力を得て、人びとが自然と共生し、癒され、本来の自分らしい生き方を実践するフィールド作りのプロジェクトが始まっています。

成田さんをリーダーとする有志が力を合わせて、ヤブを刈り、ステップ1,000段の遊歩道をめぐらせ、標高125mの頂上には眺望の素晴らしい「天空テラス」を作りました。

さらにツリーハウスを中腹に点在させ、自然との共生を学ぶワークショップやカフェコーナーを展開予定!

安房自然村
不老山薬師温泉
Phone 0479-28-1111



*楽しいことやりたい人、この指とまれ!

ここは、一人ひとりが夢をかなえる場です。これから大きな構想を実現するために、協力者を募集します。

- ①基金を提供してくださる方
- ②資材を提供してくださる方
- ③知恵を提供してくださる方
- ④労働を提供してくださる方

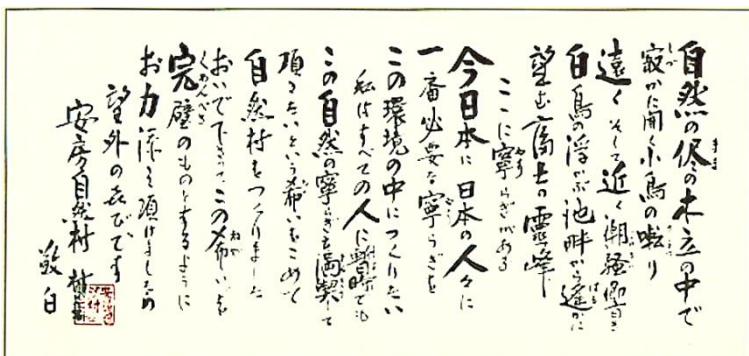


*森の地引網、体験希望者大歓迎!

第2ステージとして、ツリーハウスを作るため、資材運搬用のワイヤーロープを設置しました。

「森の地引網」と命名し、さかなクンの描いたお魚さん達と一緒に引き上げて、降ろす時はジャック・マイヨールが海に潜るように、楽しく作業できる工夫を準備しています。時間があいた時は電話ください。

成田均 080-4581-5205



◎「館山まるごと博物館」の理念とソーシャル・ビジネス構想

房総半島南部の安房地域の歴史をひもとくと、世界とつながり、「平和・交流・共生」の精神を培ってきた先人の姿を見ることができます。NPO法人安房文化遺産フォーラムでは、戦争遺跡や里見氏城跡をはじめ多様な文化遺産を保存・活用し、国連の提唱する「平和の文化」を学ぶスタディツアー（ピースツーリズム）や地域間・国際交流などを活動の柱として、「館山まるごと博物館」の生涯学習まちづくりを進めてきました。

「館山まるごと博物館」（エコミュージアム）とは、地域全体の有形無形の魅力的な自然遺産や文化遺産を再発見するとともに、市民が主役となって学習・調査・研究・保存・保全・展示・教育の活動を行うまちづくりの手法であり、単なる観光目的ではありません。人びとが、自然環境と共生し、生活文化の歴史にどう関わってきたのかを学習することで、地域の特性や現状を総合的・多面的に理解し、自ら地域課題を解決するとともに、持続可能な地域の将来像を描き、地域社会を運営していく人材を育成することが重要といえます。

なかでも 12 年取り組んできた富崎地区のまちづくりでは、青木繁《海の幸》誕生の家と記念碑を保存する会（嶋田博信会長）を核として全国の著名な美術関係者の応援を得て小谷家住宅（館山市指定文化財）を修復し、青木繁「海の幸」記念館（小谷福哲館長）を開館しました。これまで積み重ねてきた「3つの「あ」（青木繁・安房節・アジの開き）のまちづくり」の視点（芸術・歴史文化・食文化）を活かし、ソーシャル・ビジネスの展開を構想しています。

具体的には、プロダイバーの成田均氏が、故ジャック・マイヨールの提唱した「ホモ・デルフィナスの精神」（自然と人間が共存できる持続可能な社会）を後世に伝え、アワビ海洋牧場による海洋環境の再生を図る「成田構想」や、精神科医師の渡辺克雄氏が実践する森田療法・臨床美術療法・栄養療法により自己回復と居場所づくりや就労支援を目指す「渡辺構想」、および能忍寺の山口博永上人が提唱する「林住期構想」（自己を見つめ直し社会貢献に活かす人生哲学）を融合し、安房自然村（豊田晃社長）の協力を得て広大な森をフィールドとした拠点整備事業の連携をすすめ、「館山まるごと博物館」構想を発展させていくために、有志6名によって「一般財団法人あわ」を設立し、雇用につながる経済的基盤を創出していく予定です。

【ソーシャル・ビジネスの中長期構想（案）】

◎愛沢構想：愛沢伸雄（NPO法人安房文化遺産フォーラム代表）

- ・「館山まるごと博物館」＝文化遺産や自然遺産の保存活用・持続可能な地域社会
- ・「平和・交流・共生」を学ぶピースツーリズム
- ・市民が主役の生涯学習まちづくり ⇒ 年金プラス5万円の仕事づくり
- ・底点志向＝弱者の視点で支え合うコミュニティの創生

◎3つの「あ」のまちづくりの視点：嶋田博信（青木繁《海の幸》誕生の家と記念碑を保存する会会長）

- ①青木繁の「あ」＝芸術と神話（布良崎神社）
- ②安房節の「あ」＝漁村の歴史と生活
- ③アジの開きの「あ」＝食文化（医食同源）研究とメニュー開発「おらがごっつお」

◎成田構想：成田均（シークロップダイビングスクール代表・公益財団法人地球友の会理事）

- ・ホモデルフィナスの森づくり～遊歩道・天空テラス・ツリーハウスなどを整備
⇒ 気づきのワークショップ（シーグラス・ランプシェード、貝殻磨きなど）
- ・ジャック・マイヨール記念館（仮称）～ 貝殻博物館・海洋写真展
⇒ ジャック・マイヨール、大崎英晋（日本ダイビングの祖）、さかなクンのメッセージ
- ・海洋環境の再生 ⇒ 海洋牧場（アワビ養殖の新技術）

◎渡辺構想：渡辺克雄（鎌倉メンタルクリニック院長・上野の森クリニック）

- ・自然のなかで癒され、本来の自分らしさを取り戻し、就労体験
- ・森田療法（禅的な考え方で大正期に日本で始まった精神療法）
- ・臨床美術療法 ・栄養療法

◎「林住期」構想：山口博永（宗教法人能忍寺住職・太極道交会道長）＝坐禅・太極拳

- ・人生の三大目的である「自己究明」「生死解決」「他者救済」が実現できる場を提供する
 - ① 自己とは何かと真摯に取りくもうとする人には「自己錬磨の場」
 - ② 生死問題に苦しみ身心を病む人には「癒しの場」
 - ③ 人びとのために生きようとする人には「奉仕の場」となる。

- ・樹木葬「自然葬（じねんそう）」
＝お金をかけずに自然に還り、
永眠できるシステムづくり

仏教における人生の考え方（四住期）

学生期（がくしょうき）	～ 25歳	学問・技術・教養などを身につける
家住期（かじゅうき）	～ 50歳	職業をもち家庭を営む
林住期（りんじゅうき）	～ 75歳	自然に向き合い人生見つめ、社会貢献
遊行期（ゆぎょうき）	～ 100歳	祈りの余生、旅立ちの準備

◆ ツアーガイド&講演のスケジュール

ガイド&
サポートスタッフ募集中!

◎ 10名以上の団体を対象に、スタディツアーガイドを有料で承っています。

・ガイド料＝1人あたり500円。座学・ガイドブック付は1,500円。時間・内容・料金等については応相談。

◎ 毎月第一日曜の午前は、個人や小グループを対象に、赤山地下壕ガイドサービス実施しています。

7月11日(火)10:00～12:00 生涯大学南房学園＝出前授業「館山まるごと博物館」
7月12日(水)15:00～ トスラブ館山・ウォーキング 20名＝青木繁記念館・布良崎神社
7月14日(金)10:00～16:00 在日コリアンマイノリティ人権研究センター40名＝座学・かにた村・四面石塔
7月25～26日(火水) 葛飾退職教職員の会 25名＝座学・赤山・掩体・上陸地・青木繁記念館・布良崎神社
7月28日(金)11:30～15:30 民医連 18名＝座学・赤山・掩体・米軍上陸地
8月 6日(日) 9:30～12:00 赤山ガイドサービス
8月22日(火)10:00～15:00 佐倉高校 40名＝赤山・大巖院・青木繁記念館・布良崎神社
9月 4日(日) 9:30～12:00 赤山ガイドサービス
9月13～14日(水木) 中央大学長谷川ゼミ 7名＝座学・赤山・かにた村・青木繁記念館・布良崎神社・館砲
9月24・25日(日月) 千代田区退職者の会 20名＝座学・赤山・掩体・米軍上陸地
9月26日(火)15:30～16:30 新潟北高校＝出前授業
10月 1日(日) 9:30～12:00 赤山ガイドサービス
10月 4日(水)11:00～16:00 高校校長会研修 15名＝座学・赤山・かにた村
10月2～3日(月火) 東葛飾高校 15名＝館山まるごと博物館(赤山・四面石塔・青木繁記念館)
10月11日(火)13:00～16:30 新潟北高校 220名＝赤山・掩体・米軍上陸地

NPO会費納入のお願い

年会費未納の方は入金をお願いいたします。

郵便口座 00260-1-97307 名義:NPO法人安房文化遺産フォーラム
(A会員 2,000円、B会員 1,000円、法人会員 10,000円)

かにた婦人の村からボランティアのお願い

8月21日(月) 18:00～19:00 夏祭り 盆踊り

8月23日(水) 17:00～19:00 夏祭り 夜店

9月15・16日(金土) 8:30～14:00 エマオバザー

□ 第69回 歴史教育者協議会全国大会(神奈川・関東大会)

*一般市民も参加OK!

8月4～6日(金土日) 会場:法政大学第二中・高等学校

8月3日(木) ○プレ企画「講演と登戸研究所資料館見学」	(参加費無料)
8月4日(金) ○全体会 ・記念講演 金平茂紀氏 「憲法施行70年～ジャーナリストが見た日本の教育」 ・現地報告「君たちには話そう～甦る陸軍登戸研究所」	【参加費】 *教員・歴教協会員 事前＝5,500円、当日＝6,000円 *一般・学生 事前＝1,500円、当日＝2,000円 *分科会1日参加＝3,000円
8月5・6日(土日) ○分科会	
8月5日(土) ○地域に学ぶ集い	
8月7日(月) ○現地見学会 【A】海から見る横須賀軍港と米軍基地(5,700円) 【B】幕末横浜開港史巡り(8,800円) 【C】石垣山一夜城と小田原城総構えを歩く(7,200円) 【D】みなとみらいから横浜山手へ(2,780円) 【E】中世鎌倉を巡る(3,400円) 【F】日本国憲法の源流をたどる(1泊 33,600円) 【G】浅草・浅草寺周辺の史跡(3,200円) 【H】靖国神社と遊就館の平和ガイド(2,900円) 【I】江戸湾防衛からオスプレイまで(10,500円)	※【F】のみ2日間(月火)
<主催> 歴史教育者協議会 (豊島区南大塚 2-13-8 千成ビル/03-2847-5701)	

□ 第21回 戦争遺跡保存全国シンポジウム高知大会

～今こそ戦争遺跡を平和のために～

8月19～21日(土日月) 会場:高知県民文化ホール

8月19日(土) ○全体会 ・記念講演 公文豪氏「植木枝盛憲法草案と日本国憲法」 ・全国交流会	【参加費】 *一般 1日間＝1,000円、2日間＝2,000円 *大学(院)生 1日間＝500円、2日間＝1,000円 *交流会 5,000円
8月20日(日) ○分科会	
8月21日(月) ○戦争遺跡見学会 Aコース:前浜掩体と耐弾式通信所(バス代 2,600円) ※懐中電灯持参 Bコース:旧歩兵第44連隊弾薬庫・講堂、陸軍墓地 他(バス代 2,400円)	
<主催> 戦争遺跡保存全国ネットワーク (長野市若里 3-5-5 きぼうの家・02-228-8415) 現地実行委員会 (高知市杵形 9-11 平和資料館・草の家/088-875-1275)	

※ どちらの大会もパンフレット・申込書あります。フォーラム会員の問合せはNPO事務局まで。